平成28年 6月度 バージョンアップ項目

<施工図システム>

- 1. クレーンガーター機能の追加(柱詳細、梁詳細、原寸型紙対応)
- 2. エレベーター柱の原寸を追加(柱詳細、梁詳細、原寸型紙対応)
- 3. コア仕口組立図に仕口対角寸法を表示
- 4. 間柱単品図をまとめて出力
- 5. 図面読み込みに対応
- 6. IFCエクスポート機能の追加
- 7. CTジョイントを材料リストに対応(CTの項目追加)
- 8. よくある質問追加
- 9. 斜め梁梁単品図ガセット寸法(斜め梁に火打ち梁がつくときの寸法線など)の表記を修正
- 10. ブレスの"□""P"の材料リストに対応
- 11. ブレス図面をブレスフォルダに出力するよう変更
- 12. 柱単品図のガセット取り付け寸法表記の修正
- 13. スマートダイア2に対応
- 14. スリーブのハイリングⅢに対応

<胴縁システム>

- 1. 胴縁合番の固定に対応しました。
- 2. 割付寸法線を自動でセットします。
- 3. 胴縁部材<H>に対応しました。
- 4. 軸組ピースの縦2列孔に対応しました。

<施工図システム>

1. クレーンガーター機能の追加

クレーンガーター機能を追加しました。クレーンガーターがある際は、階層にてクレーンガー ターの配置の為の階層を階高はキャンティ梁の天端で設けておいてください。

伏図の中の梁配置にて、クレーンガーター用に設けた階層にて、キャンティ梁を設置します。 その後、クレーンガーターの中の設定でクレーンガーターの部材等の設定をします。

<梁配置画面>

施工図	
RSL 36: クレーンガーター	大梁継手:一般 小梁継手:一般
梁優先 2.点配置 斜め梁 <mark>(火打ち梁</mark> 斜め通り 嵩上配置 デッキ方向 [PL反転 緩衝チャック ワルーンカーター	よくある質問 😰 🗘 梁部材を選択してください
住口修正 座屈止め キャンティ配置 二重梁 かもっト方杖 マクロコマント。 EVファスナー 仮設部材 階高 図面読込 スノ	う 基準 植部材入力 梁部材入力
7 ひス部材 🚺 ジョイント 🚺 パース作成 本柱配置 間柱耐風梁 柱修正 セットパック 🚺 梁配置 🍑	<mark>メッキ 平面ブレス 軸プレス スソーブ</mark> ▼ 益言⊋三
水気配設定 合学設定 工区設定 天吊根太 折板受け 斜通用勾配 図面目	イアウト 全国作成 部材切入出力
<u>アッカー作成</u> 伏図作成 軸図作成 🥻 梁合番付 デッキフャート 柱詳細 梁詳細 🦉 梁リスト	· 林科リスト 積算 直交通り追加
4000 +	

<クレーンガーター初期設定画面>

部材符号	KG H-15	0x75x5x7		
レール部材	RAIL-15KG			
レール材質	SS400			
先端からの距離	15			
木口PL厚み	9			
転び止めPL厚み	9			
クリア(片側)	5			10 11
転び止めPL位置	20		4	
振れ止めPL厚	9		15 H	
端の場合	1			
梁芯からの距離	0			
高さ調整クリア	10			
ライナーPL厚み	9 (無し	い場合は0)		
<下フランジ> 縦手の物	<木口PL>	平行の利		
世」(777) 「「一一」(1)2		20		
オ経	20 开放工主	20		
귀제	<u>1</u> 귀 제	22		
端明	30 端明	40		
孔ビッチ	0 孔ピッチ	100		
外ビッチ	60 外ビッチ	5		
内ビッチ	内ピッチ	0		
ボルト 種類 TCボ	ルト ボルト 種類	TCボルト		
_	Enter	決定		

「設定項目」

- ・部材符号・・・梁部材入力で入力した中から選択してください。
- ・レール部材、材質・・・クレーンガーターの上に乗せるレールの部材と材質を選択してくだ さい。
- ・先端からの距離・・・クレーンガーターを配置する位置を入力してください。上の参考図の ように先端から15mm内側に配置するときは15と入力してください。
- ・木口PL厚み・・・木口PLの厚みを入力してください。一番端のPLの厚みはクレーンガ ーターのウェブの厚み以上のものに自動でなります。
- ・転び止めPL厚み・・・転び止めPLの厚みを入力してください。
- ・クリア(片側)・・・クレーンガーターの切断箇所でのクリアを入力してください。
- ・転び止めPL位置・・転び止めPLの位置を梁の天端からの距離で入力してください。
- ・振れ止めPL厚・・・振れ止めPLの厚さを入力してください。
- ・端の場合・・・一番端のクレーンガーターを合わせる位置を1~3の中から選んでください。
- ・梁芯からの距離・・・端の場合を3(梁芯まで)にしたときに梁芯からの距離を入力してください。梁芯のままでいいときは0を入力してください。
- ・高さ調整クリア・・・数値を入力すると自動でライナーPLの厚みを出します。
- ・ライナーPL厚み・・・ライナーPL不要の場合は0を入力してください。

〈下フランジ厚み・木口プレート〉

- ・継手パターン・・・クレーンガーターの下フランジのボルト孔の配置パターンを選んでくだ さい。
- ・ボルト径、孔径・・・使用するボルトの径と孔の径を入力してください。
- ・孔列・・・孔の列数を入力してください。
- ・端明・・・中心から第一孔までの距離を入力してください。
- ・孔ピッチ・・・孔列が2以上のときピッチを入力してください。
- ・外ピッチ、内ピッチ・・・孔のピッチを入力してください。
- ・ボルト種類・・・使用するボルトの種類を選んでください。

<出力項目>

- ・木口、転止、振止、ライナーPL・・・柱詳細の原寸型紙作成
- ・トラス・・・平面ブレスの集計
- ・ボルト・・・材料リストのボルト集計表
- ・クレーンガーター、バックガーター・・・梁詳細の梁単品図

(1) クレーンガーターの配置にて、クレーンガーターは切断位置で分けて入力してください。二 点配置と同じように始点と終点を選択して配置してください。



(2)梁の修正はクレーンガーターも選択できます。



(3) <組立図出力>にて、クレーンガーターの組立図を出力できます。

	<mark>クレーンガーター</mark> 設定
	設定
中中扣對	配置
-出力幹数→ ○[1] ○[2] ○[3]	削除
出力枠数↓ ○[1] ○[2] ○[3]	梁修正
<u>組立図間の間隔 X 50 mm Y 50 mm</u>	組立図出力
出力開始	終了

ひとつのファイルに出力する枠数を選べます。(最大3 x 3)



2. コア仕口組立図に対角寸法を表示

コア仕口組組立図に対角寸法を表示できるようになりました。

<柱詳細>---<出力設定>----<対角寸法表示>で2か3を選ぶと対応した図面に対角寸法が 表示されます。

※斜め梁の対角寸法はここでの設定とは関係なく常に表示されます。

出力設定	
出力方式	2
出力方向	3
出力文字サイズ	3
文字幅比(%)	40
用紙サイズ(柱加工指示書)	1
図面レイアウター	40
キープラン縮尺	600
仕口部納まり詳細表示	1
柱詳細 柱全長寸法表示	1
タイコ、シャフト合番	2
製品マーク、合番設定	2
全断面出力(柱詳細)	2
柱·梁部材 文字幅比(%)	60
梁部材引出線表記	2
合番表記	2
断面 梁ツラ表示	2
吊りピース表示	2
ガス抜き穴設定	2
平面レイヤー設定	2
対角寸法表示	2

<柱詳細セクション断面図>



3. 間柱単品図をまとめて出力

<柱詳細>--<図面作成>--<間柱図面作成>--<単品図設定>--〔複数画面を1ファイル〕 にチェックを入れると、工区と階と通りが同じ間柱の図面がひとつのファイルにまとまって出 力されます。

<柱詳細図面作成画面>



4.エレベーター柱の追加

(1) 間柱、耐風梁配置から<間柱 EV 配置>でエレベーター柱を配置します。

間柱、耐風梁	己置
間柱、耐風梁を配置する	間柱平面 配置
通りを左の伏図から 選択してください。	間 柱軸図 配置
	間柱修正
	間柱削除
	間柱
	New 間柱EV配置
	間扭EVI修正
	耐風梁 配置
	耐風梁 修正
	耐風梁 削除
	終了

(2)間柱を配置する箇所が本通りではない場合(画像例:P1-5,P1-6)、<本柱配置>--<ペント柱 割付線追加>で通りを追加します。追加されたペント柱割付線に(1)同様に間柱を配置します。



9

(3) <間柱 EV 修正>を選択後、配置した間柱をクリックし、ジョイント符号などの項目を入力します。

※水勾配がかかっている場合は<間柱上側クリア>でRSLからのクリア寸法を手動で調整をしてください。



5SL	89:エレベター柱	大梁継手:一般	小梁継手:一般			
				間柱EVと取り合いする フロアを選択してくださ	間柱、耐風梁配置 修正する間柱を選択してく 間番	主平而 記置
RGL	 	 		 ·····	7こさい - 首 - 前 - 前 - 前 - 前 - 前 - 前 - 前 - 前	主軸図 記置 主修正 転割除
				<mark>ジョイント符号</mark> PJ1 EVジョイントクリア10 A - 2 95 年 0	IIII III Nove IIIII	1 柱 液写 EV配置
<u>6</u> q <u>L</u>	 	 		 ★ 120m 00 ペース距離 (GLからのペース距離) 間柱上側クワア 250 (RSLからのクリア寸法)	間柱 耐 通り選択 _ 自	EV修正 風梁 記置 風梁
58L	 	 				。 風梁 <u>削除</u> 冬了
					通り選択 B	
48L	 	 		 	(i)	
38L	 	 		 	(1) (2) 拡大全体 柱部材力 梁部材力	λ <u>ታ</u> λታ
261	 	 		 	<u>라)) 2008</u> 라)) 00	8 <u>a</u>
<u>G</u> L	 	 H		 		

(4) 間柱と梁の空間(画像で赤く囲ってある箇所)をクリックするとガセットが表示されます。



(5) 追加されたエレベーター柱のガセットは<柱詳細>-<原寸型紙作成>-<型紙確認>にて 確認できます。

.....

一型전	汉一覧 ——										
No	Edit タイプ	合番	台数	受梁サイズ	小梁サイズ	高さ	切欠	斜切	スカラップ	Skサイズ	厚
1	間柱EV	C-1	2	H-450x200x9x14	H-200x200x8x12	-225	無し	無し	R取り	15	9
2	間柱EV	C-2	1	H-350x175x7x11	H-200x200x8x12	-175	無し	無し	R 取り	15	9
3	間柱EV	C-3	1	H-250x125x6x9	H-200x200x8x12	-250	無し	無し		0	9
4	ル セット	G-1	3	H-500x200x10x16	H-200x100x5.5x8	0	悪し	悪し	R取り	15	9
5	ガセット	G-2	3	H-450x200x9x14	H-200x100x5.5x8	0	無し	無し	R取り	15	9
6	ガセット	G-3	3	H-400x200x8x13	H-200x100x5.5x8	0	無し	無し	R取り	15	9
7	ガセット	G-4	3	H-350x175x7x11	H-200x100x5.5x8	0	無し	無し	R取り	15	9
8	ガセット	G-5	3	H-300x150x6.5x9	H-200x100x5.5x8	0	無し	無し	R取り	15	9
9	ガセット	G-6	3	H-250x125x6x9	H-200x100x5.5x8	0	下	無し	R取り	10	9
10	間柱EV	G-7	2	H-450x200x9x14	H-200x200x8x12	-225	無し	無し	R取り	15	9
11	間柱EV	G-8	3	H-350x175x7x11	H-200x200x8x12	-175	無し	無し	R取り	15	9
12	間柱FV	G-9	3	H-250x125x6x9	H-200x200x8x12	-250	無し	無し		0	9
13	ガセット	G-10	9		H-200x200x8x12	0	下	無し		0	9
14	ガセット	B-1	4	H-200x100x5.5x8	H-200x100x5.5x8	0	無し	無し	R取り	10	9
15	ガセット	B-2	1	H-200x100x5.5x8	H-200x100x5.5x8	0	無し	無し	R取り	10	9
16	ガセット	B-3	1	H-200x100x5.5x8	H-200x100x5.5x8	0	無し	無し	R 取り	10	9
17	間柱EV	B-4	4	H-200x100x5.5x8	H-200x200x8x12	-100	無し	無し	R取り	10	9
18	間柱EV	B-5	2	H-200x100x5.5x8	H-200x200x8x12	-100	無し	無し	R取り	10	9
19	リフ	200-97	A 6	H-200x100x5.5x8		0	黒し	黒し	R 取り	10	9

(6) 詳細図・単品図も[柱詳細]-[図面作成]にて作成できます。また出力設定の変更も同じ画面 で行えます。



(7) <梁単品加工図>—<設定>—<断面タイプ>を梁詳細に変更すると、断面図にエレベータ ー柱が表示されます。



5. 図面読込に対応

DXFファイルから通りデータを読み込みします。 *図面読込をする前に「初期設定」「階高設定」を実行して下さい。 *柱または梁の入力後は通りデータの入力はできません。 (短集 頭 西 。のま この 乳 定け 恋 更 できます)

(編集画面への表示の設定は変更できます)

梁優先 2点翻	記置斜め梁	火打ち梁 斜め通り	嵩上配置 7	*ヶ方向 [PL反転	緩衝チェック	クレーンか	-h- IF	でエクスホ [®] ート New	よくある角	間 🛛 🖓
仕口修正 座屋	昆止め キャンティ配	2置 二重梁 がもットプ	す杖 マクロコマント*	EVファスナー 仍	反設部材	階高	図面読む	え スパシ	基準	柱部材	入力 梁部材入力
プレス部材	ジョイント	ベース作成 本村	配置 間柱耐	風梁 柱修]	正 セットハ	ing 📕	梁配置	→ 📗	<u></u>	平面ブレス	軸ブレス スリーフ゛
水勾配設定	合掌設定	エ区設定	天吊根太	新板受I:	ナ <mark> 斜</mark> :	通用勾配		図面レイフ	Pウト :	全図作成	部材以补出力
アンカー作成	伏図作成	軸図作成	梁合番付 デ	ッキフ°レート	柱詳細	梁詳細	j j	ペリスト	材料リス	ト積算	直交通り追加

図面読込メニュー

241 施工図

「図面選択」	通りデータの読込に使用するDXFファイル名の入力等を行います。
「本通り入力」	本通り(全階共通)の入力を行ないます。
「斜め通り入力」	斜め本通り・斜め割付線の入力を行ないます。
	本通りは全階共通、割付線は全階/階毎を選択できます。
「割付線入力」	階毎に割付線の入力を行ないます。
「終了」	施工図メインメニューに戻ります。
	a 0 🗮

RSL	104 :	大梁継手:一般 小梁継手:一般		
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	22	図面読込
				図面選択 本通り入力 斜め通り入力 割付線入力 終了
				[図面選択] でファイル名 を入力して下さい
				移動拡大

(1)「図面選択」

①階毎にDXFファイル名の入力します。

②施工図の編集画面でDXFファイルを表示できます。

表示する場合は「編集画面に表示する」にチェックをつけます。

③キープランの領域を指定します。

通りデータ入力時はこの範囲の中の直線を検索します。

編集画面に表示する範囲に使用します。

「領域を変更する」ボタンをクリック、マウスクリックで範囲を選択します。

④通りの基準となる原点を指定します。

通りデータ作成の基準になるポイントを指定します。

一番左の本通りと一番下の本通りの交点を原点とします。

「原点を変更する」ボタンをクリック、マウスクリックで直線の交点選択します。

※「直線の選択条件」に一致した直線だけが有効です。

<図面選択の画面>



(2)「本通り入力」

本通り(全階共通)の入力を行ないます。

①マウスクリックで本通りの直線の選択します。

※「直線の選択条件」に一致した直線だけが有効です。

②通り名を入力します。



③「終了」ボタンをクリック時に「本通りデータを登録しますか。」と聞いてきます。"はい"で入力した通りデータを登録します。



(3)「斜め通り入力」

斜め本通り・斜め割付線の入力を行ないます。
本通りは全階共通、割付線は全階/階毎を選択できます。
①マウスクリックで斜め通りの直線の選択します。
※「直線の選択条件」に一致した直線だけが有効です。

②通り名・壁芯等のデータを入力します。



③「終了」ボタンをクリック時に「斜め通りデータを登録しますか。」と聞いてきます。 "はい"で入力した通りデータを登録します。



(4)「割付線入力」

階毎に割付線の入力を行ないます。

①マウスクリックで割付線の直線の選択します。
 ※「直線の選択条件」に一致した直線だけが有効です。
 直線を選択すると「割付線を登録しますか。」と聞いてきます。
 "はい"で入力した割付線を通りデータに登録します。
 ②右側の通りの一覧に"割付線"と表示します。

※合計の距離は本通りだけの寸法を表示します。



6. IFCエクスポート機能の追加

(1) 3D ビューワで3次元表示をしてください。

梁の督	记置
梁の肖	削除
梁の何	多正
通り書	间付
飛行相	機梁
センタージ	ョイント
柱高さい	け設定
部材注	自加
階 複	写
ヘントハウ:	ス設定
寄棟	設定
検索	
終	了
拡大はマウ) できます	ス範囲で
3D :	<i></i> プレビュー
計測 2線間	計測 線−点
計測 長さ	横使い

(2) < IFC エクスポート>を選択すると案内がでますので「はい」を選択します。

3SL 89:エレベター柱	大梁継手:一般
梁優先 2点配置 斜め梁 火打ち梁 斜め通り 嵩上配置 デッキ方向 [PL反転 緩衝チェック クレーンガーター Nev	IFCIウスポート New よくある質問 🕥 🔽
せ口修正 座屈止め キャンティ配置 二重梁 がもット方杖 マクロコマント* EVファスナー 仮設部材 階高 図面読込 スノ	19 基準 柱部材入力 梁部材入力
フシス部材 ジョイント ▲ 本柱配置 間柱耐風梁 柱修正 セットバック 薬配置 ◆	メッキ 平面ブレス 軸ブレス スリーブ
水勾配設定 合学設定 工区設定 天吊、根太 折板受け 斜通用勾配 図面に	イアウト 全図作成 部材水出力
7)カー作成 伏図作成 軸図作成 🧰 梁合番付 デッキプレート 柱詳細 梁詳細 🚺 梁リスト	材料リスト 積算 直交通り追加

IFCExport
IFCファイルを書き出す前に3Dビューアの更新(勾配計算)を行ってください。
3次元汎用CADシステム(Autocad社のRevitシステム)専用ファイルで出力されます。 Revitシステム以外では正しく読み込みが行えませんので了承ください。
IFCファイルを書き出しますか?
(まい) いいえ

7. CTジョイントを材料リストに対応(CTの項目追加)

材料リストにCTジョイントが対応しました。

<材料リストプレビュー画面>

加工表No 確認 用紙 作成日 1 全工区_大梁001 A4 2016/06/14 2 全工区_A001間柱加 A4 2016/06/14 3 全工区_A002間柱加 A4 2016/06/14 3 全工区_M020間柱加 A4 2016/06/14 5 全工区_小梁001 A4 2016/06/14 5 全工区_PL加_001ガセット A4 2016/06/14 6 全工区_RB加_001 A4 2016/06/14 7 全工区_製品検査 柱 1 A4 2016/06/14 8 全工区_製品検査 梁 1 A4 2016/06/14 9 全工区_ボルト明細(ピン) 1 A4 2016/06/14 10 全工区_ボルト明細(ピン) 1 A4 2016/06/14 11 全工区_ボルト踏集計(剛・ピン) 1 A4 2016/06/14 12 全工区_CT継手_001 A3 2016/06/14 13 集積指示_001 A4 2016/06/14 ※ 子 ※
No 加工表名 用紙 作成日 1 全工区,大梁001 A4 2016/06/14 2 全工区,A001間柱加 A4 2016/06/14 3 全工区,A002間柱加 A4 2016/06/14 4 全工区,小梁001 A4 2016/06/14 5 全工区,PL加_001ガセット A4 2016/06/14 6 全工区,RB加_001 A4 2016/06/14 7 全工区,製品検査 柱 1 A4 2016/06/14 8 全工区,製品検査 揉 1 A4 2016/06/14 9 全工区,ボルト明細(ピン) 1 A4 2016/06/14 11 全工区,ボルト賭計(剛・ピン) 1 A4 2016/06/14 11 全工区, CT継手_001 A3 2016/06/14 13 集積指示_001 A4 2016/06/14 ※ 子区 A4 2016/06/14 ※マー ※ ア
1 全工区_大梁001 A4 2016/06/14 2 全工区_A001間柱加 A4 2016/06/14 3 全工区_A002間柱加 A4 2016/06/14 4 全工区_小梁001 A4 2016/06/14 5 全工区_PL加_001ガセット A4 2016/06/14 6 全工区_RB加_001 A4 2016/06/14 7 全工区_製品検査 柱 1 A4 2016/06/14 8 全工区_製品検査 控 1 A4 2016/06/14 9 全工区_ボルト明細(ピン) 1 A4 2016/06/14 10 全工区_ボルト明細(ピン) 1 A4 2016/06/14 11 全工区_Tボルト開集計(剛・ピン) 1 A4 2016/06/14 12 全工区_CT継手_001 A3 2016/06/14 13 集積指示_001 A4 2016/06/14 終 了
2全工区_A001間柱加A42016/06/14出力 工区番号 (0=指定なし) 03全工区_A002間柱加A42016/06/1404全工区_小梁001A42016/06/1405全工区_PL加_001ガセットA42016/06/1406全工区_RB加_001A42016/06/1407全工区_製品検査 柱 1A42016/06/1408全工区_製品検査 菜 1A42016/06/1409全工区_ボルト明細(ピン) 1A42016/06/1410全工区_ボルト集計(剛・ピン) 1A42016/06/1411全工区_CT継手_001A32016/06/1413集積指示_001A42016/06/14※ 了
3 全工区_A002間柱加 A4 2016/06/14 4 全工区_小梁001 A4 2016/06/14 5 全工区_PL加_001ガセット A4 2016/06/14 6 全工区_RB加_001 A4 2016/06/14 7 全工区_製品検査 柱 1 A4 2016/06/14 8 全工区_製品検査 注 1 A4 2016/06/14 9 全工区_ボルト明細(ピン) 1 A4 2016/06/14 10 全工区_ボルト明細(ピン) 1 A4 2016/06/14 11 全工区_ボルト集計(剛・ピン) 1 A4 2016/06/14 12 全工区_CT継手_001 A3 2016/06/14 13 集積指示_001 A4 2016/06/14 ※ 子工区 ※ 子工
4 全工区_小梁001 A4 2016/06/14 5 全工区_PL加_001ガセット A4 2016/06/14 6 全工区_RB加_001 A4 2016/06/14 7 全工区_製品検査 柱 1 A4 2016/06/14 8 全工区_製品検査 梁 1 A4 2016/06/14 9 全工区_ボルト明細(ピン) 1 A4 2016/06/14 10 全工区_ボルト明細(ピン) 1 A4 2016/06/14 11 全工区_ボルト株計(剛・ピン) 1 A4 2016/06/14 12 全工区_CT継手_001 A3 2016/06/14 13 集積指示_001 A4 2016/06/14 終 了
5 全工区_PL加_001ガセット A4 2016/06/14 6 全工区_RB加_001 A4 2016/06/14 7 全工区_製品検査 柱 1 A4 2016/06/14 8 全工区_製品検査 梁 1 A4 2016/06/14 9 全工区_ボルト明細(ピン) 1 A4 2016/06/14 10 全工区_ボルト明細(ピン) 1 A4 2016/06/14 11 全工区_ボルト告計(剛・ピン) 1 A4 2016/06/14 12 全工区_CT継手_001 A3 2016/06/14 13 集積指示_001 A4 2016/06/14 ※ 了
6 全工区_RB加_001 A4 2016/06/14 7 全工区_製品検査 柱 1 A4 2016/06/14 8 全工区_製品検査 梁 1 A4 2016/06/14 9 全工区_ボルト明細(ピン) 1 A4 2016/06/14 10 全工区_ボルト集計(剛・ピン) 1 A4 2016/06/14 11 全工区 ボルト踏集計(剛・ピン) 1 A4 2016/06/14 12 全工区_CT継手_001 A3 2016/06/14 13 集積指示_001 A4 2016/06/14 ※ 了
7 全工区_製品検査 柱 1 A4 2016/06/14 8 全工区_製品検査 梁 1 A4 2016/06/14 9 全工区_ボルト明細(ピン) 1 A4 2016/06/14 10 全工区_ボルト集計(剛・ピン) 1 A4 2016/06/14 11 全工区 ボルト階集計(剛・ピン) 1 A4 2016/06/14 12 全工区_CT継手_001 A3 2016/06/14 13 集積指示_001 A4 2016/06/14 ※ 了
8 全工区_製品検査 梁 1 A4 2016/06/14 9 全工区_ボルト明細(ピン) 1 A4 2016/06/14 10 全工区_ボルト集計(剛・ピン) 1 A4 2016/06/14 11 全工区 ボルト階集計(剛・ピン) 1 A4 2016/06/14 12 全工区_CT継手_001 A3 2016/06/14 13 集積指示_001 A4 2016/06/14 ※ 了
9 全工区_ボルト明細(ピン) 1 A4 2016/06/14 10 全工区_ボルト集計(剛・ピン) 1 A4 2016/06/14 11 全工区 ボルト階集計(剛・ピン) 1 A4 2016/06/14 12 全工区_CT継手_001 A3 2016/06/14 13 集積指示_001 A4 2016/06/14 ※ 了
10 全工区_ボルト集計(剛・ピン) 1 A4 2016/06/14 11 全工区 ボルト階集計(剛・ピン) 1 A4 2016/06/14 12 全工区_CT継手_001 A3 2016/06/14 13 集積指示_001 A4 2016/06/14 ※ 了
11 全工区ボルト階集計(剛・ピン) 1 A4 2016/06/14 図面ブレビュー 12 全工区_CT継手_001 A3 2016/06/14 ジャストイン印刷 13 集積指示_001 A4 2016/06/14 ジャストイン印刷
12 全工区_CT継手_001 A3 2016/06/14 13 集積指示_001 A4 2016/06/14 ※ 了
13 集積指示_001 A4 2016/06/14 ジャストイン印刷 終了
終了
終了

8.よくある質問の追加

RSL 88:エレベター柱 大梁維	₺手:一般	团
梁優先 2点配置 分割 横 分割 縦 斜め梁 火打方梁 斜め通り 嵩上配置 デッキ方向 [PL反転 緩衝チェック	よくある質問	S CM
仕口修正 座屈止め キャンティ配置 二重梁 がもット方枝 マクロコマント* EVファスナー 仮設部材 階高設定 スパン入力 基準設定	柱部材入力	梁部材入力

9. 斜め梁の梁単品図ガセット寸法(斜め梁に火打ち梁がつくときの寸法線など)の 表記を修正

<伏図>



<梁単品図>



10. ブレスの"□""P"の材料リストに対応

軸ブレスの角パイプ・パイプが材料リストの出力に対応しました。

溝型加工表で出力します。



11. ブレス図面をブレスフォルダに出力するよう変更

「シグマF1」-「施工図」-「物件」-「番号」-「ブレス」のフォルダにブレスの図面が出力 されます。

※バージョンアップ後、新規物件から有効です。

整理 ▼ 🛛 🛜 開く 📑	ライブラリに追加 ▼ 共有 ▼ 書き込	込む 新しいフォルダー			
🚖 お気に入り	名前	更新日時	種類	サイズ	
ダウンロード	🍶 _工事名: 「ブレスフォルダ」	2016/06/14 11:03	ファイル フォル		
■ デスクトップ ■ デスクトップ ■ スリーブ		2016/06/14 11:03	ファイル フォル		
		2016/06/14 11:03	ファイル フォル		
ADDIAX // U/240/ E	🍶 ブレス	2016/06/14 11:07	ファイル フォル		
= デフクトップ	加四	2010/00/14 11.03	ファイル フォル…		
	퉬 材料発注リスト	2016/06/14 11:03	ファイル フォル		
a 24220	📕 仕口タイコリスト	2016/06/14 11:03	ファイル フォル		
📑 ドキュメント	🔰 詳細図	2016/06/14 11:03	ファイル フォル		
■ ピクチャ	🕌 大和リスト	2016/06/14 11:03	ファイル フォル		
■ ビデオ	🌗 天井吊り	2016/06/14 11:03	ファイル フォル		
	🕌 胴縁	2016/06/14 11:03	ファイル フォル		
	AJMM.DAT	2016/06/14 11:03	DAT ファイル	1 KE	
B user	B_Joint.SFJ	2016/06/14 11:06	SFJ ファイル	1 KE	
1月 コンピューター	Base.Dat	2016/06/14 11:03	DAT ファイル	0 KE	
🏭 OS (C:)	BaseMHsr.Dat	2016/06/14 11:03	DAT ファイル	0 KE	
🔮 DVD RW ドラ	Brace.Buz	2016/06/14 11:05	BUZ ファイル	375 KE	
👊 ネットワーク	BRACE_K.CFG	2016/06/14 11:03	CFG ファイル	1 KE	
□ントロールパ.	BRACE2.CFG	2016/06/14 11:07	CFG ファイル	1 KE	
	BraceExe.Tmp	2016/06/14 11:07	TMP ファイル	1 KE	
19 この相		2016/06/14 11:06	テキストドキュ	1 KF	



12. 柱単品図のガセット取り付け寸法表記の修正

13. スマートダイア2に対応

∑FI 既製品ダイア マスタ編集 ≪全工事共通≫

No.	名称	記号	柱サイズ	外径	厚み	余長	材質	重量(kg)	上厚み	下厚み
1	ファブラックス	DS25	250x250	253	110	15	SN490B	40	5	
2	ファブラックス	DS30	300x300	303	110	15	SN490B	55		
3	ファブラックス	DS35	350x350	353	110	15	SN490B	73		
4	ファブラックス	DS40	400x400	403	110	15	SN490B	93		
5	ファブラックス	DS45	450x450	453	110	15	SN490B	115		
6	ファブラックス	DS50	500x500	503	110	15	SN490B	135		
7	スマートダイア	S2530	300x300	350	37	0	SN490B	34	3.5	3.5
8	スマートダイア	S3035	350x350	400	37	0	SN490B	44	3.5	3.5
9	スマートダイア	S3540	400x400	450	42	0	SN490B	62	3.5	3.5
10	スマートダイア	S4045	450x450	500	44	0	SN490B	82	0	9
11	スマートダイア	S4550	500x500	550	47	0	SN490B	107	0	7
12	スマートダイア	S5055	550x550	600	50	0	SN490B	133	0	10
13	スマートダイア	S4555	550x550	600	54	0	SN490B	162	0	0
14	スマートダイア	SD300-50	300x300	350	25	0	SN490C	25	0	0
15	スマートダイア	SD350-50	350x350	400	32	0	SN490C	39	0	0
16	スマートダイア	SD400-50	400x400	450	39	0	SN490C	61	0	0
17	スマートダイア	SD450-50	450x450	500	45	0	SN490C	82	0	0
18	スマートダイア	SD500-50	500x500	550	48	0	SN490C	105	0	0
19	スマートダイア	SD550-50	550x550	600	50	0	SN490C	125	0	0
20	スマートダイア	SD300-100	300x300	350	29	0	SN490C	31	0	0
21	スマートダイア	SD350-100	350x350	400	38	0	SN490C	53	0	0
22	スマートダイア	SD400-100	400x400	450	43	0	SN490C	75	0	0
23	スマートダイア	SD450-100	450x450	500	48	0	SN490C	103	0	0
24	スマートダイア	SD500-100	500x500	550	52	0	SN490C	136	0	0
25	スマートダイア	SD550-100	550x550	600	54	0	SN490C	162	0	0
26	スマートダイア	SD600-100	600x600	650	57	0	SN490C	192	0	0
27	スマートダイア	SD650-100	650x650	700	58	0	SN490C	228	0	0
28	スマートダイア	SD700-100	700x700	750	60	0	SN490C	265	0	0
29	スマートダイア	SD500W-100	500x500	500	54	0	SN490C	143	0	0
30	スマートダイア	SD550W-100	550x550	550	60	0	SN490C	176	0	0
31	スマートダイア	SD600W-100	600x600	600	60	0	SN490C	213	0	0
32	スマートダイア	SD650W-100	650x650	650	60	0	SN490C	239	0	0
33	スマートダイア	SD700W-100	700x700	700	60	0	SN490C	269	0	0
34	スマートダイア	S3040-25	400x400	450	43	0	SN490C	75	0	0
35	スマートダイア	S2535-25	350x350	400	38	0	SN490B	53	0	0
36	スマートダイア2	S2030-25	300x300	350	29	0	SN490C	31	0	0
37	スマートダイア2	S2535-25	350x350	400	38	0	SN490C	53	0	0
38	スマートダイア2	S3040-25	400x400	450	43	0	SN490C	75	0	0
39	スマートダイア2	S3545-25	450x450	500	48	0	SN490C	103	0	0
40	スマートダイア2	S4050-25	500x500	550	52	0	SN490C	136	0	0
41	スマートダイア2	S4050-30	500x500	560	54	0	SN490C	143	0	0
42	スマートダイア2	S4555-25	550x550	600	54	0	SN490C	162	0	0
43	スマートダイア2	S4555-30	550x550	610	60	0	SN490C	176	0	0
44	スマートダイア2	S5060-25	600x600	650	57	0	SN490C	192	0	0
45	スマートダイア2	S5060-30	600x600	660	60	0	SN490C	213	0	0
46	スマートダイア2	S5565-25	650x650	700	58	0	SN490C	228	0	0
47	スマートダイア2	S5565-30	650x650	710	60	0	SN490C	239	0	0
48	スマートダイア2	S6070-25	700x700	750	60	0	SN490C	265	0	0
49	スマートダイア2	S6070-30	700x700	760	60	0	SN490C	269	0	0
50				100						

. .

14. スリーブのハイリングⅢに対応



1. 胴縁合番の固定に対応しました。

<データ出力画面>

集計の設定――――――――――――――――――――――――――――――――――――	番号 工区名	配置数	種類数	先頭合番	末尾合番
• 主しの胴体を集計 * 新規配罟・変更のある胴緑炭集計	2 2工区	0			
if加する先頭の全番 1		0			
‴▼ 合番の固定	5 5工区	Ű			
○全工区の連番 未集計の胴縁があります、集計し	」 工区が未設定	の胴縁は工区	番号[1]	とします	
○ 全工区の連番 未集計の胴縁があります、集計し 前回の集計日時 未集調	_ 工区が未設定 して下さい 計	の胴縁は工区	番号[1]	とします	
 全工区の連番 未集計の胴縁があります、集計し 前回の集計日時 未集調 データ集計 工区合番 	_ 工区が未設定 して下さい 計	の胴縁は工区	番号[1] 梁ロボデ	とします]

「データ集計」

合番を固定できるようにしました。

・「合番の固定」を有効にして集計した場合、変更がある胴縁に枝番を付けます。 例、 $<A-1> \rightarrow <A-1a>, <A-1b>$ のようになります。

※2回目以降も変更があれば $<A-1a> \rightarrow <A-1aa>, <A-1ab>$ のようになります。

※Ver1.2.9以前のシグマ材料取合システムの「胴縁データ変換」を使用した 場合、枝番は付きません。チェック無しで集計して下さい。(Ver1.2.10で対 応します)

2. 割付寸法線を自動でセットします。



「寸法線追加」

寸歩線を自動でセットした後に、寸法線を追加することができます。

上の参考図のように表中の番号を選択すると選択した寸法線が赤くなります。

その後、この寸法線に追加したい要素を表の下のボタンの胴縁、マグサ、直線の中から選択し、 図の中の要素を選択すると、寸法線が追加されます。

3.胴縁部材<H>に対応しました。

胴縁システム、データ変換の修正	
1. 日鍋の認識を修正しました。	
◎背と刃を同じ色同じ線種、背に厚み線	
フランシ幅の2本と厚み線2本で作図します。	
※1 つの図面の中に H鋼と同じ条件(色と線種)の角パイプがある場份	合は以下のようになります。
 フラン:Silleの1/3	∪央にある場合。。。H鋼とします。)
	端にある場合・・・角パイプとします。
[▫ 背と刃を色または線種で分ける]	
フランジ幅の2本で作図します。	

「H-100x50」~「H-150x150」のサイズは自動でマスターに登録します。

<図面読込-データ変換画面>



H鋼胴縁の変換方法

①読込設定を選択します。

② "新しい設定を使用する"を選択します。

③部材を選択します。

④実行(全体)を選択します。

4. 軸組ピース、縦2列孔に対応しました。

ピースマスターで孔列を2列で入力します。

